

# 特定非営利活動法人キャリアネットワーク北陸

## 令和元(2019)年度 事業報告

2020年6月1日

NPO法人キャリアネットワーク北陸は、定年前後の知識労働者を主な対象としたキャリアシフト支援事業を目的として、令和元年4月25日に特定非営利活動法人として認証され、5月7日に登記しました。

初年度は、2種類の事業を定期的で開催し、会員の意識啓発や情報交流の場を提供しました。再就職への支援事業は実施しませんでした。会員がそれぞれにネクストステージを考えることのできる場として、一定の評価を得ていると考えます。(参加者評価：ホームページに公開)

### 1. 今年度の事業：

事業年度中に開催したセミナーなどは、次のとおりです。

《イグナイト&広場》	(参加者数)
・4/13 「プレイベント：キャリネットカフェ」	( 34人)
・7/27 「設立記念フォーラム&交流パーティー」	(105人)
・8/17 「ネクストステージを模索する」	( 19人)
・9/21 「新しいステージの発見」	( 22人)
・11/16 「自分気づきとネクストステージ」	( 17人)
・1/18 「ネクストステージに活かせるスキル」	( 21人)
・1/18 「新年交流会」	( 24人)
《キャリアネット学苑》	
・10/ 5 「ヒューマンエラーを理解する」	( 9人)
・11/ 2 「眼からうろこの傾聴テクニック」	( 12人)
・12/ 7 「パワハラ・モラハラ防止対策」	( 8人)

加えて、11月には、「キャリアシフト・プロジェクト」を立ち上げ、新たに5人の参加を迎え、プロジェクト活動を開始しました。当プロジェクトは次の3つの部会で構成されています。

☆キャリアシフト・プロジェクト☆

- (1)第一部会：「企業・経済団体主催による定年前社員向けセミナー開催」
- (2)第二部会：「キャリアマッチング情報提供」
- (3)第三部会：「多面的学びの場の拡大・キャリアシフト支援者養成」

### 2. 検証

収益事業は次年度以降に実施する計画で、初年度は、寄付金・年会費収入・参加費収入で運営しました。年会費収入が予算を下回った理由の一つに、法人会員が3団体に留まったことがあります。理由は、法人対象事業未構築につき積極的勧誘をしなかったためです。また、個人の入会勧誘については、ちらし配布やメール活用をしたとはいえ、役員等の人的ネットワークによる広報に留まったこと、10月以降入会者の年会費を半額にする措置をとったことなどがあげられます。支出については、ICT周辺機器の購入、ネットワーク管理システムの導入など設備投資を行いました。この収支状況を補うため、運営は、寄付金収入と役員ボランティア活動でまかないました。これらの現状を踏まえ、次年度には、「イグナイト&広場」を基盤としつつ、キャリアシフト・プロジェクトによる企業・経済団体対象の収益事業計画を立て、3月には経済団体の協力も得ました。以上